



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ「すぐやる課」の業務報告と市民の皆さまにお願いしたいこと

島田市役所には「すぐやる課」という全国でも数少ない部署があります。どんな仕事をしているかご存知ですか。今月は「住民の困り事、要望に対し、すぐできることはすぐにやる課」として市民に好評を得ている当課の業務内容と処理状況、課題などについてお話ししたいと思います。

「すぐやる課」の作業員は、増加・多様化する市民の声に素早く対応できるよう、2班9人体制で出動しています。現場ごとの仕事量に応じ臨機応変に対応しており、川根地区には、週1～2日、一齐に出動することで効率良く要望に応じています。



具体的な業務としては、道路の穴を埋めるなどの舗装修繕、ガードレール・側溝・カーブミラーなどの維持修繕、草刈り、水路の浚渫・改修などを主な業務としています。しかし、近年は、「庭の草刈りをしてほしい」「水路にボールを落としたので拾ってほしい」「チャイルドシートの装着方法を教えて」「ご近所のピアノがうるさいから注意して」など、個人的な要望が増えています。「すぐやる課」は「何でもやる課」ではありません。「庭の草刈り」など私有地の維持管理や個人的な要望は、基本にお断りしています。舗装・側溝・水路などの簡易修繕、崩土処理、街路樹に関すること、水路のゴミ詰まりなど、公共的な要望に対応していますのでご理解いただきたいと存じます。

日々道路などの維持管理に対応

「すぐやる課」で市民の要望を受けて処理する件数は、年間約2,500件。要望数に対する処理率は95～99%で、大概の要望に応える結果となっています。近年、自然環境の変化により増加している害獣駆除や草刈りなど「すぐやる課」で処理できない事案については、市役所内の関係部署、県島田土木事務所、国土交通省などにつないでいます。要望の中身は少しずつ変化していますが「困っている市民を助ける」精神は不変です。

作業員からは「近所の人に見守られて作業をすることもたびたび。市民の期待と信頼を得ることができ、感激している」という声も聞かれます。彼らは今日も、道路の応急修理などに市内を駆け巡っています。

急激な人口減少・少子高齢化の影響で、働く世代が減っていく時代に突入し、行政もスリム化を余儀なくされています。「どの課もすぐやれば『すぐやる課』は必要ない」とのご意見をいただくこともありますが、こうした時代にあっても、迅速かつ丁寧に市民と向き合う「ワンストップサービス」の一環として、「すぐやる課」はこれからも維持してまいりますので、併せて「地域でできることは地域で」という市民参加型の「互助の精神」もお願いいたします。



市民参加で取り組むしまだ街中美化活動

みんなのひろば

皆さんから寄せられた地域の「ニュース」「イベント」「声」などを紹介します。

金谷地区にある4つの障害福祉事業所「うたしあ」「こころ」「きらり」「ワークセンター希望の家」で構成する「UK3アーチ」が、10月14日に交流運動会を行いました。当日は障害福祉事業所のほか、金谷地区社会福祉協議会が協力し、総勢160人が金谷体育センターに集合。参加者は、障害の有無に関わらず参加できる4つの競技を色別対抗戦で行い、大いに盛り上がりました。

UK3アーチの名前には、各事業所をつなぐ架け橋となる

ようにとの願いが込められています。現在は、関係者の交流を主にしていますが、今後は広く一般の人にも参加していただき、障害とは何かを知ってもらう機会にしたいと考えています。(特定非営利活動法人うたしあ 谷川智美さん)

